

[okazaki_100]

活動タイトル	環境セミナー（環境概論 2）
実施日	2017年12月14日
場所	DCMホームマック株式会社 本社（札幌市）
対象数	21人（従業員の方々）
内容	<p>毎月、開催されている CSR 委員会の勉強会「環境セミナー」で、お話しさせていただきました。昨年は、「パリ協定」を中心に、「温暖化のしくみ」、個人や会社としてできることのヒントなどもお話しさせていただいたのですが、今年は、その続編として、主催者の方からは、以下の要望がありました。</p> <p>（1）環境に関わる世界の情勢と日本の状況。環境先進国の状況。 （2）再生可能エネルギー推進の現状と進捗（原発問題とのからみ含む）及び将来の方向性。 （3）私たちが今から取り組むべきことや課題。 （4）日々の生活でのお役立ち情報等。</p> <p>セミナー開催日の12月14日は、11月にフィジーが議長国をつとめる COP23 がドイツのボンで開かれ、12月11日には京都議定書 20 周年を記念して札幌テレビ塔もライトダウンしたタイミングでしたので、それらの状況を通して、京都議定書とパリ協定の違いや、長期目標の 2°C 未満、人為的な温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることなどの意味から、緩和と適応、日本の目標達成に向けた取り組みについて、と言う流れで、クイズを入れながらお話ししました。「京都議定書やパリ協定など聞いたことはあるけれど、何なのかよくわからなかったものが今日の講義で聴けて良かったです。」という感想をいただきました。</p> <p>また、（2）については、2016 年の世界と日本の比較データや、最近の国際会議や世界銀行に関する報道発表から、世界が再エネルギー推進にシフトしていることが読み取れることを紹介しました。</p> <p>（4）については、9月に行ったスペインの大型スーパーの電球コーナーの展示状況を紹介した後、実際に消費電力の測定をしたり、省エネグッズについては、一般の方の反応や消費者の声なども含めて紹介しました。「電球のことなどはお客様へご説明もできるので、次の接客で活かして行きたいと思います。」との感想があるなど、少しは、お役に立てただけの内容となったようです。</p> <p>（1）と（3）に関しては、SDGs が世界の潮流になりつつあることを紹介し、17 のゴールに関して、個人や企業としてできることを考える簡単な個人ワークをしていただきました。その結果、1、4、5、9、16 以外の 12 のゴールに関する取り組みがあげられ、そのうち、7（エネルギーをみんなに、そしてクリーンに）、11（住み続けられるまちづくりを）、12（つくる責任、つかう責任）、13（気候変動に具体的な対策を）の 4 つのゴールに関しては、多くの人があげておられました。</p> <p>盛りだくさんの内容だったので、質疑の時間が取れなかったのが反省点です。主催者の方と、メールだけでなく、対面でやりとりしながら、内容を絞って行く過程が必要だったと思います。</p>

[配布資料]

実践おうちで省エネ（北海道経済産業局）、スマートライフおすすめ BOOK（一般財団法人家電製品協会）、E・E ミニガイド（NPO 法人北海道グリーンファンド）

実施写真等

